

福岡県労連

KEN ROREN

ZENROREN

2024

12月号

No.216

発行所 福岡県労働組合総連合
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南
1-9-8 ケイ・アイビル2F
☎092-433-1833 FAX092-433-1822

編集発行
福岡県労働組合総連合

福岡県労連

[定価]
1部10円

特集 地域からムーブメントを! ~地区労連 奮闘中~

福岡県労連の組織内には現在四つの地区労連と休止中で再建をすすめている地区労連があります。地区労連では各産別組織をつなぎ、地域住民や様々な団体を巻き込みながら地域の運動の先頭に立って奮闘しています。前号に引き続き今号も特集として各地区労連の取り組みをご紹介します。

大牟田地区労連の取り組み紹介

大牟田地区

大牟田地区労連

役員紹介			
議 長	中島 了	副 議 長	星野 智英
事務局 長	緒方 英樹	事務局 次長	矢野 誠

大牟田地区労連は、1990年12月19日に結成しました。休止していた時期もありましたが、大牟田地域の労働運動の伝統を引き継ぎ、労働者の権利を守る運動を進めています。

筑後地区労連の取り組み紹介

筑後地区

筑後地区労連

役員紹介			
議 長	梶山 邦弘	副 議 長	岩下 良
事務局 長	熊野 敏浩	事務局 次長	久保田 猛

筑後地区労連は、1991年1月23日に結成しました。その後、95年に現在事務所がある日の出町に移転して地域の市民運動と共同しながら労働者の生活を守る砦として活動しています。

Report

九州セミナー in 大牟田

大牟田で20年ぶり開催 労働者の実りある学びの2日間

11月16日〜17日、大牟田文化会館で第34回人間らしく働くための九州セミナー in 大牟田が開催されました。オープニング企画では荒木栄生誕100周年記念として大牟田センター合唱団のうたごえが披露されました。

記念講演では筑波大学人文社会科学系名誉教授の田中洋子先生より「エッセンシャルワーカーが安心して働ける社会のために」と題して講演がありました。講演では、エッセンシャルワーカーは社会に不可欠な存在であることが強調されました。

2日目は分科会と教育企画として「大牟田における労働災害・公害職業病の闘い」をテーマとして医療法人親仁会会長で医師の橋口先生より講演がありました。2日間のセミナーで、400名を超える方が参加されました。

Report

安心して暮らせる街づくりを

子どもの医療費を18歳まで無料に 声を上げる大切さ実感

10月27日、くるめこ257筆が寄せられました。久留米市のゆめタウンで、久留米市に持ついきそいの場で懇談をしてきました。毎年累計で3千筆を超える署名を集めています。「署名の効果もあつて、徐々にではあるが改善されてきた。声をあげることで変えることができる」ということを対話で話すと、署名に応じたいただき、「ありがとうございます、がんばってください」と声をかけてくれる方もいらっしゃいました。

うきは市と懇談 粘り強く求め、国を動かす

毎年、自治体キャラバンで各自治体と懇談を行っています。うきは市との懇談では、福建労の組合員より身近にもアスベストの危険性があることを広く住民周知するように要請しました。また、この間強く求めてきた生活保護制度の周知のための広報については、各自治体のホームページに「生活保護の申請は権利です」との文言が入るなど、粘り強く要求してきた成果がでています。

青年の団結かため決意新たに

青年部総会開催



12月1日に第16回福岡県労連青年部総会と平和友好祭2024が開催されました。総会には10名、平和友好祭には18名が参加しました。

ゲームを織り交ぜ交流を

総会では、一年の活動総括と交流や学習を軸として、平和活動や政治的課題に対して取り組む方針が確認され、その後は「フェイクから身を守るメディアリテラシー」の身に「テラシーの身に」をテーマとして渡邊事務局長が講師としてミニ学習会がありました。

総会の第2部ではグループディスカッションで要求づくりを行いました。午後からは平和友好祭では、「あすわか」が作成した憲法ボードゲーム「Kenpo game」を「Kenpo バリア」で日本を守れ！」で楽しくゲーム感覚で憲法の大切さについて学びました。

対話を大切に絆を深めよう

最後に「今世界を見渡すとウクライナ戦争やガザでの戦争だけではなく各地で対立が起こっており混乱の時代となっています。そんな時代だからこそ対話が重要です。次世代にバトンをつなぎ、職種や組織などの違いを超えて対話をし絆を深め、青年の要求実現の運動を大きく広げましょう」とまとめがありました。

12月1日開催

誰もが元気に働ける社会目指して

福岡県労連女性センター学習会&第30回定期大会が、12月1日開催されました。午前中には、薬剤師の入江美穂先生による「漢方・薬膳学習会」が開催されました。多くの方にご参加いただきました。



学習会の講師 入江美穂先生

長く元気に自分らしく働くためには

講義の内容では、女性の体の変化や未病(不調のサイン)を見逃さないことの重要性についてお話がありました。特に、心はいつまでも10代20代であるにもかかわらず、体の状態との乖離が無理を招き、病気につながるがあると指摘されました。今の自分を受け入れることが大切であると強調されました。

また、漢方では腎の健康が重要であり、足が元気なうちは内側の力を意識することで腎を鍛えることができるとのこと。さらに、冬には体を温めるために煎じたほうじ茶を選ぶなど、日常生活に取り入れられる具体的なアドバイスも頂きました。

参加者は、漢方薬膳茶やお菓子を楽しみながら学び、お土産として自分の体に合ったお茶を作って持ち帰ることができました。また、昼食には五味五色を用いたカレーも提供されました。



熱意ある発言で活気ある大会に

午後からは第30回定期大会が行われ、現地参加者24名、Zoom参加者2名の計26名が集まりました。今期はエフコープ労組および県国公から新しい役員を迎え入れることができ、全労連事務局次長寺園さんを来賓に迎え、8年ぶりに開催されたCEDAWについて、私たちの意見が国連女性差別撤廃条約へ届けられた報告を直接聞くことができました。また、医労連等の単組からも発言があり、参加者の熱意が感じられ活気ある大会となりました。

今回の学習会と定期大会を通じて、参加者は心身の健康に関する理解を深め、新たなつながりを持つことができました。今後も女性たちが元気に自分らしく働ける社会を目指して、多くの活動を続けていきたいと思ひます。

交流の広場

第34回人間らしく働くための九州セミナーを受講してエッセンシャルワーカーの働き方と健康というテーマにて行われたこのセミナーは、日本のエッセンシャルワーカーの待遇など多くを知り深く考えさせられる時間となりました。記念講演では離職者の増加による人手不足の苦悩、そしてコロナ禍を経た現在でも改善されない現状を知り、パネルディスカッションでは、エッセンシャルワーカーの冷遇さを痛感しました。韓国でも、エッセンシャルワーカーの待遇が充分ではないことをお聞きし、世界の問題であると認識を持ちました。どうすれば充分な待遇に導けるのか考え、声をあげる必要があると感じました。(KOH労働組合 小林 海斗)

編集後記

今年も残りわずかになりました。2024年はどんな年だったでしょうか。漢字能力検定協会が発表している今年の漢字、2024年は「金」です。2022年は年末に安保3文書改定と防衛費43兆円が発表されたことにちなみ「戦」、2023年は防衛増税が議論されインボイスが導入されたことにちなみ「税」でした。どちらも「金」は関係しています。そう考えると2024年は本質が現れた年ともいえる気がします。では「金」の本質はなんなのでしょうか。お金の本質は「人を動かす力」だそうです。来年は動かされるのではなく「人」が主体として大切にされる年になればと思います。(K)



冬に観てほしいオススメ映画 デイ・アフター・トゥモロー

KOHO労働組合 今坂 千鶴

気象変動問題への警鐘

物語の主人公である気候学者ジャックは、地球温暖化によって引き起こされる海流の変化が新たな氷河期をもたらすという衝撃的な説を唱えています。彼の警告は現実のものとなり、

私は冬になると思いつく映画があります。それは地球温暖化による異常気象の危険性を描いた「デイ・アフター・トゥモロー」です。中学生のとき、真冬の寒い教室のなかで鑑賞し凍えた記憶があります。

世界各地で異常気象が頻発。ロサンゼルスに巨大竜巻が襲来し、ニューヨークは津波に飲み込まれます。そしてあつという間に、北半球は氷点下の世界へと変貌を遂げていくことに...。映画からは、気候変動問題への警鐘が感じられ、一人ひとりが真剣に向き合うべき問題だということが伝わります。気候変動という現実的な問題をテーマに据えながらも、大迫力なSFパニック映画としても楽しむことができるのも本作の魅力です。